

国土の基本的な地理空間情報の刊行 —数値地図（国土基本情報）・電子地形図 25000—

管理課長 下山 泰志

キーワード：国土基本情報，電子地形図，電子国土基本図のあり方検討会

1. はじめに

国土地理院では、平成 21 年に定められた第 7 次の基本測量に関する長期計画に基づき、従来の地形図に替わるデジタル形式の新たな地図である電子国土基本図を整備している。

電子国土基本図は平成 21 年 12 月より電子国土 Web 上で試験公開が開始され、あらかじめ作成した地図画像をスクロール可能な地図としてインターネットにより配信する地図サービスを展開してきた。

一方で、電子国土基本図を、ベクトルデータとして GIS において活用したり、地形図画像としての多様な出力ができることへの期待が高まってきた。

2. 電子国土基本図のあり方検討会

国土地理院では、今後の電子国土基本図がさらに利用者に価値のある使いやすいものとなるよう学識経験者・行政機関等から意見をいただくことを目的に、電子国土基本図のあり方検討会を平成 24 年 2 月に設置し、平成 24 年 7 月に中間提言をいただいた。

以下に紹介する「数値地図（国土基本情報）」や「電子地形図 25000」の内容は、この提言の内容を踏まえたものとなっている。

なお、現在検討会では、国土の広域を表現する地図も含めて議論をいただいているところである。

3. 数値地図（国土基本情報）の刊行

電子国土基本図のベクトルデータ等を含む国土の基本的な情報として、行政区画・道路・鉄道・建物等の地図情報、居住地名等の地名情報、標高等を 1 つにまとめた地理空間情報「数値地図（国土基本情報）」の刊行を平成 24 年 7 月末から開始した（平成 25 年 4 月までに全国を順次公開）。

この情報は、オンライン提供を基本としていることから、国土の主要な変化を迅速に反映させた、日々新しい情報を提供することができる。また、GIS などを用いて、必要な情報を選択したり、他の情報と重ね合わせて利用することが可能である。

標準地域メッシュの二次メッシュ単位にファイル化され、データ項目は 52 項目と、平成 13 年から 15 年にかけて全国を対象に刊行した数値地図 25000

（空間データ基盤）の 4 倍である。

4. 電子地形図 25000 の刊行

電子国土基本図のデータを画像データとしてより手軽に利用できるよう、従来の地形図とほぼ同様の様式で表現した画像データである「電子地形図 25000」（以下、「電子地形図」という。）のオンライン刊行を平成 24 年 8 月 30 日から開始した（平成 25 年 4 月までに全国を順次公開）（図-1）。

電子地形図 25000 は、①従来の図郭にとらわれない自由な図郭設定が可能で、②用紙サイズも A0 から A4 まで自由に選択でき、③表示内容や表示色もある程度変更が可能な、④オンラインのダウンロードによる画像形式の新鮮な地図情報、などの特徴がある。

特に表現について、従来の地形図に近い表現をベースとしつつも、建物・陰影等の色選択が可能となり、利用者にはよりなじみやすいものとなった。

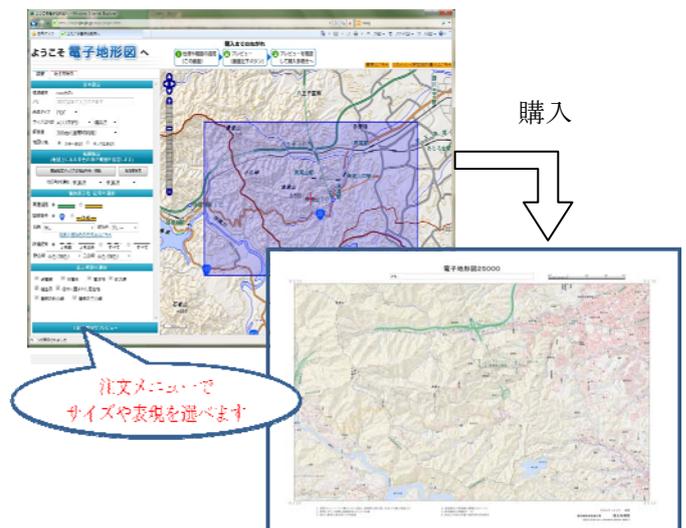


図-1 電子地形図 25000 の注文・購入の画面

5. まとめ

国土地理院では、電子国土 Web の地図についても、より見やすい表現となるよう工夫を行っている。

電子国土基本図が利用者にとって価値ある使いやすいものとなるよう、今後とも改善を図っていく所存である。

参考文献

電子国土基本図あり方検討会：利用者にとって価値ある使いやすい電子国土基本図を目指して（中間提言），平成 24 年 7 月